

完成検査が行われます

振り返りますと、平成二十三（二〇一一）年の東日本大震災によって原子力発電所が発電を中止したため、国では代替施設として太陽光発電施設の導入を推進してきました。ただし、危険箇所の発電所の設置規制などを定めなかったことから、全国各地で土砂崩落等の被害が発生してまいりました。このようにこのこともあって、上田市議会会派（現壮志会）では、太陽光発電施設に関する条例を全国で初めて制定した茨城県つくば市の視察を行い、設置業者が利益を優先するあまり自然破壊に對してまったく無関心でいるという状況を確認してきました。



て、城下地区ではこの条例を活用し、望土を八回に渡って地元の説明会を開催し、
に全国で安心な施工がなされるように、土砂崩落防止の対策等について、特
業者に對して、強い要求をきかせる。その結果、地質調査の実施や盛り
土への凝固剤の使用など、業者の雨排水の一増大に伴う心かけや堰への負担を減
した。また、敷地には、調整池の南側の埋め戻し、
度を大にため、調整池の南側の埋め戻し、
部の大雨に對し、調整池の南側の埋め戻し、
実現を圖りました。將來の地盤沈下対策として、自在法、榨油の設置を交渉し、

この交渉に当たっては、元長野県土木課に勤務された小野澤義和さん（中村自治会）、元日本道路公園勤務の宮下幸雄さん（諏訪形自治会）、元建設業の柳澤登美男さん（中村自治会）など、土木技術について卓越した知見と実績をお持ちの皆さんのお力を借りてきました。更には、城下自治会連合会会長を務められた沓掛勝也さん（御所自治会）、同副会長の竹内久子さん（朝日ヶ丘自治会）をはじめ多くの皆さんが、城下地区を災害から守るために終始変わらぬ熱い気持ちを持って活躍を費やしていただきました。その結果として、たくさんの方の成果をあげることができたものと考えています。今後は二十年間にわたって発電、売電が行われますが、施設の維持管理については朝日ヶ丘自治会において高橋君江さんを中心に「朝日ヶ丘自治会43朝日会議」が設置され、定期的に現場を確認して、地元にとって安全な稼働が行われるように監視していただくことになっています。

坪八耕作者説明会がありました

[illegible]

上田市・諏訪形自治会の

ゴミ減量活動にご協力ください

上田市長は「みんなが主役、減らそうごみ、ゴミの回収、資源の再利用、資源の生み出す環境をまちへ」を基本理念として、「資源の減量と資源の再利用の取り組み」を通じた「環境共生のまちづくり」を推進してまいります。

ご存じのとおり、諏訪形自治会では毎月一回、原則として第四火曜日の直前の日曜日朝に資源回収を行っています。諏訪形自治会内に三ヶ所ある回収ステーションで自治会の役員・協議員と各ブロックの生活環境部員の皆さんが中心となつて、紙類、空き缶、ペットボトルなどの回収を行っています。また、通常のゴミ回収では出すことができない蛍光管や乾電池（ボタン電池を除く）などの回収も行っています。

資源物の回収量に應じて上田市から自治会に対して奨励金が出るのですが、毎年、かなりの金額が自治会の収入となつていきます。ここ数年の奨励金は以下のとおりです。

二〇一九年度 二〇二〇年度 二〇二一年度 二〇二二年
 二〇二三年度 四、七、九、八、七五二六円 二〇二二年
 八〇三八円 (半期分) 一〇、七、九八二七円

早朝の活動で、生活環境部員の皆さんにご負担をおかけしています
 が、これからも自治会員の皆さんのご協力をよろしく願います。

また、諏訪市自治会では公民館南側駐車場の隅に「大型生ごみ処理機」を設置し、現在会員数五四名で運用しています。令和二（二〇二〇）年二月に運用を開始して以来、生ごみの投入総量は十トン近くになっております。また、この生ごみを原料にして堆肥を作って会員に無料で配布しております。これまで約一五トンの堆肥の生成にまなす。諏訪市自治会生ごみ処理機運用管理委員会の窪田和人会長までお問い合わせください。（TEL099-017-0051-9999）

なお、ここで耳寄り情報。上田市クリーンセンターで「生ごみ出し
ません宣言」をすると、可燃ごみ処理機の袋を年間三十枚、無料でも
らうことができますよ。大型生ごみ処理機の利用と併せてご検討くだ
さい。

諏訪形誌活用委員会主催 第十二回

ウォーキングイベントが開催されました

諏訪形誌活用委員会では、二〇二〇年に刊行された『諏訪形誌』を活用して地域について知るためのウォーキングイベント、「諏訪形誌を歩く」を実施しています。四月六日（土）十三人の皆さんにご参加いただき、第十三回のウォーキングイベントが実施されました。

「三訪で今
碑を回行お
宮を川訪以
神ね、外じ
社」まの中のみ、
などもの場の識
に足した。所訪
「や」た。地。德
「旧」また区訪
保またねる上
福ある人
寺名シ
街道号
・碑基
・に
別近名
所い第

ま神とつは
し社いた中当
た。でう橋之日
は。おを条は、
お語渡に
祭もつ育昔、
り伺てつ
のい二た古
準ま中方舟
備しにが橋
が通一が
進。つこあ
めまてのつ
らたいへた
れ、たん場
て宮よに所
い川あで

さおり。近くで姥
さんにおまが、懐
によつて茶、坂の
つて、で所有の
大切に行者、名
に守られて見、号
守られてお碑、は
いる、り、と、私
こと、地、は、有
を、域、が、地
を、も、内
を、ま、よ、に
を、し、て、あ
を、す、る、の

ご参加いただいた皆さんからは次のような感想をいただきました。

・水仙も咲いていましたし、気持ちよく歩かせてもらいました。
 ・初めて馬頭観音を見させてもらいました。嫁いできて初めてのことで、
 ・徳本上人の前はよく通ったけれど、はっきりと見るのは初めて。
 ・足が痛くてかばいながら歩いていましたが、行くことができたので、
 ・普段歩かれない所、昔の街道筋を歩いてみて、団地ができているのか、
 ・びっくおしてしまっただけです。
 ・北沢さんのお話もよかったです。神社の屋根の菊の紋を見て、
 ・詣で毎年よく行ったところなのに初めて感じ入りました。

なお、今回で十三回になるこのイベントは、雨などで中止、延期になったことが一度もない「晴天専門」の行事となっています。

次回は五月二十六日の「諏訪形自治会交流親睦会」の一環として、昨年に続き「諏訪形入門Ⅱ」を実施する予定です。

今回は、諏訪神社など諏訪形の西側、南側を中心に散策する予定で、諏訪形について知りたい方や、最近転入された方などで、初めて参加される方、大歓迎です。たくさんの方のご参加をお待ちしています。自治会から配布される要項にしたがってお申し込みください。ご参加いただける方には後日、諏訪形詠活用委員会から資料を配布させていただきます。

この件についてのお問い合わせ先…

諏訪形誌活用委員会企画担当 稲垣敦史

e-mail suwagataashi@gmail.com

